

Management bundle for infections related to injection therapy for diabetic patients

糖尿病患者の 注射療法に関する感染

マネジメントバンドル

ストラクチャーバンドル
プロセスバンドル

2019

糖尿病患者の注射療法に関する感染ネットワーク マネジメントバンドル作成ワーキンググループ

委員長：三嶋 廣繁（愛知医科大学大学院）
木下 久美子（関東労災病院）
國島 広之（聖マリアンナ医科大学）
高山 和郎（東京大学医学部附属病院）
田中 永昭（関西電力病院）
中村 二郎（愛知医科大学）
星野 ゆかり（仙台厚生病院）
松島 由実（岡波総合病院）
和田 幹子（すずき糖尿病内科クリニック）

（委員長以下 五十音順）

本バンドルの内容に関し、開示すべきCOIはありません

医療従事者が患者に注射する際の注射手技

インスリン注入器（薬剤：インスリンペン型注入器、カートリッジ、バイアル、針：インスリン注射器用注射針、安全機構のついたペン型注入器用注射針、インスリン専用シリンジ、インスリンポンプ構成）の医療従事者の針刺し・切創による感染を防止するためのマニュアルがある。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
安全機構のついたペン型注入器用注射針を導入している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
安全機構のついたペン型注入器用注射針を導入していない施設では補助具を使用している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
医療廃棄物管理マニュアルがあり、全職員に周知徹底されている。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No

教育

医療従事者が患者に注射するための指導方法のマニュアルがある。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
患者向けの患者が自己注射する際の注射手技に関するマニュアルがある。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
安全機構のついたペン型注入器用注射針の使用方法についてのマニュアルがある。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
注射療法の知識と技能取得のための教育プログラムがあり、対象者が受講できるように設定されている（人工皮膚モデル、皮下硬結マネキンなども活用する）。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
患者に外出先での在宅医療廃棄物（使用済みの穿刺針やペン型注入器など）の廃棄方法について指導している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
注射手技に関する指導方法が施設内で統一されている。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
医療従事者および患者のための教育ツールがある。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
針およびシリンジを再使用しないように教育している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
医療従事者への教育を定期的実施している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
患者への教育を定期的実施している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
針刺し防止マニュアル、医療廃棄物管理マニュアルがあり、全職員に周知徹底されている。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
外出先での在宅医療廃棄物（使用済みのインスリン注入器〔薬剤：インスリンペン型注入器、カートリッジ、バイアル、針：インスリン注射器用注射針、安全機構のついたペン型注入器用注射針、インスリン専用シリンジ、インスリンポンプ構成〕）の廃棄方法について指導している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No

廃棄

安全機構のついたペン型注入器用注射針を導入していない施設では、ペン型注入器による注射後の注射針の廃棄は、針刺し・切創を起こさないための対策を講じている（各患者専用の補助具を利用しているなど）。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
ペン型注入器を使用する場合は患者ごとに専用の鋭利器材専用廃棄容器を採用している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
廃棄容器は容量の8割程度を目途に新しい容器と交換している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No

ストラクチャーバンドル

針刺し・切創時の対応

【平常時からの対応】

針刺し・切創の感染対策は、責任の部門を明確にした上で組織的に行っている。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
針刺し・切創の感染対策は、非常勤や委託の職員も対象としている。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
針刺し・切創時の対応に関するマニュアルがある。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
針刺し・切創の危険性や感染対策について、教育を実施している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
ワクチン接種など、ウィルス抗体の保有を促進する取り組みを実施している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
針刺し・切創が発生した場合、24時間血液検査が実施、相談できる体制を整えている（院外を含む）。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
針刺し・切創が発生した場合の報告体制を整え、職員に周知している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No

【針刺し・切創発生時の対応】

針刺し・切創が発生した場合、抗体の有無を確認できる体制を整えている。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
針刺し・切創が発生した場合、可及的かつ速やかに受診するなど、事後措置体制を整備している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
必要時に投与する薬剤が処方される体制を整えている（院外を含む）。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
エピネット日本版などの報告書を用いて、針刺し・切創状況を監視・管理している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
針刺し・切創の発生後、要因を分析・フォローアップのために、施設長または感染管理の担当者に相談をしている。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No

医療従事者が患者に注射（自己注射介助）する際の注射手技	項目/	項目	遵守率	%
教育	項目/	項目	遵守率	%
廃棄	項目/	項目	遵守率	%
針刺し・切創時の対応	項目/	項目	遵守率	%
ストラクチャー合計	項目/	項目	遵守率平均	%

このバンドルの使用方法について

ストラクチャーバンドルの目的と説明

- ・ ストラクチャーバンドルは、原則として糖尿病患者の注射療法に関する、医療従事者の針刺し・切創による感染を防止するために病院全体の状況を評価することを目的としています。

チェックボックスの説明

- ・ それぞれの項目に該当しているかどうかを原則として「Yes」「No」で記録します。

遵守率の算出方法

- ・ 遵守率の欄には各項目ごとに「該当せず」を省いた「Yes/No」の総数を分母とし、「Yes」の数を分子として算出します。

医療従事者が患者に注射する際の注射手技

ペン型注入器用注射針の自身の注射手技についての知識と技能が下記の項目において遵守できていることを確認した（注射針の着脱、清潔操作、注射針の廃棄、注射薬の保管方法）。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
インスリン専用シリンジを使用した自身の注射手技について、下記の項目において遵守できていることを確認した（清潔操作、針の廃棄、バイアル薬剤の保管方法）。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
自己注射介助時は手袋を着用した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No

教育

注射療法についての知識と技能を十分に取得している、または取得している責任者が監督していることを確認した（内容：注射療法の種類と作用、注射タイミング、注射針の着脱、注射部位、試し打ち、注射後の保持時間、廃棄、保管方法、ポンプやカートリッジの操作方法）。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
注射手技を患者へ教育するための知識と技能を十分に取得した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
統一された指導方法で患者および介助者（保護者）を指導した（少なくとも下記の項目に注意する）。 ①患者の針、インスリンの廃棄について、自治体の規則に沿った廃棄方法を指導した。 ②個別に対応可能な指導せんを患者および介助者（保護者）に頒布した。 ③逆流防止のための注射後の針の抜き方を患者および介助者（保護者）に指導した。 ④周囲（血糖測定器やノートなど）に血液汚染しないよう患者および介助者（保護者）に指導した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No ※①~④すべてできてYes
使用済み注射針は、一般家庭ごみに捨てたりせず、毎回、しっかりとフタのできる固い耐貫通性容器に廃棄するよう患者に指導した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
使用済み注射針は、リキャップして廃棄するよう患者に指導した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
外来受診時に、使用済みの針を廃棄してある固い耐貫通性容器を持参し、医療機関から指示される場所に適切に届けるよう患者に指導した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
外出時に使用した穿刺針などは、専用ポーチなどに保管して自宅へ持ち帰るよう患者に指導した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
医療機関・主治医・薬局などから指示をされた廃棄方法を遵守するよう患者に指導した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
患者の理解度に合わせた指導を患者に実施した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
安全な注射針の着脱方法を患者に指導した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
外出先での注射針の取扱いについて患者に指導した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
マニュアルに沿って針およびシリンジは再利用しない教育を患者にしていることを確認した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
マニュアルに沿って薬液の作用発現時間などを患者に教育していることを確認した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
未使用の薬剤や針の保管方法について教育していることを確認した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
教育内容について定期的に確認している。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No

廃棄

鋭利器材専用廃棄容器を患者への注射時に携行し、針を取り外したタイミングで速やかに廃棄した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
インスリン専用シリンジの使用後はリキャップせずに廃棄した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
ペン型注入器による注射後の注射針の廃棄は、針刺し・切創を起こさないための工夫をして廃棄した（各患者専用の補助具を利用しているなど）。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No

針刺し・切創時の対応

【平常時からの対応】

針刺し・切創の危険性や感染対策についての研修会に参加した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No
針刺し・切創時の対応マニュアルの存在と保管場所を確認していた。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No

【針刺し・切創発生時の対応】

受傷部位を流水で洗い流した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず
汚染源の感染性、および自身の抗体の有無を確認した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず
可及的かつ速やかに受診し、必要に応じた検査や処置（薬剤投与など）を受けた。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず
決められた体制に沿って、施設長または感染管理の担当者に報告した。	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/> 該当せず

医療従事者が患者に注射 (自己注射介助)する際の注射手技	項目/	項目	遵守率	%
教育	項目/	項目	遵守率	%
廃棄	項目/	項目	遵守率	%
針刺し・切創時の対応	項目/	項目	遵守率	%
プロセス合計	項目/	項目	遵守率平均	%

このバンドルの使用方法について

プロセスバンドルの目的と説明

- プロセスバンドルは、原則として糖尿病患者の注射療法に関する、医療従事者の針刺し・切創による感染を防止するために必要である個別の診療プロセスを確認することを目的としています。

チェックボックスの説明

- それぞれの項目に該当しているかどうかを原則として「Yes」「No」で記録します。
- 症例や施設が記載された項目に該当しない場合は、「該当せず」で記録します。

遵守率の算出方法

- 遵守率の欄には各項目ごとに「該当せず」を省いた、「Yes/No」の総数を分母とし、「Yes」の数を分子として算出します。